

2020年11月20日th、ブリュッセル

BSEF声明-ノルウェーによるそしてデンマークにより共同提出された

Tetrabromobisphenol-A (TBBPA)のハーモナイズされた分類および表示 (CLH)提案

文脈

2020年6月5日、ノルウェーおよびデンマークthは、テトラブロモビスフェノールA (TBBPA)のハーモナイズされた分類および表示(CLH)に関する提案を欧州化学品庁(ECHA)に提出した。この提案は、TBBPAの現在の分類(水生急性毒性1(H400)、水生慢性毒性1(H410))に、発がん性1B (H350)を追加することである。TBBPAは現在、既存の科学的データに基づき、発がん性物質カテゴリー2に自ずと分類されている。

2020年11月16日、ECHAは一般協議を始めた。この協議は2021年1月29日終了する。その後、ECHAのリスク評価委員会(RAC)が申請資料を検討する。このマイルストーンはプロセスの始まりであり、EU CLP規則附属書VIIに正式に分類を収載するまで2年を要する可能性がある。

BSEFビュー

BSEFは、発がん性カテゴリー1Bとしたこの分類を詳細にレビューし、ノルウェーから提供された分類ドシエに対し詳細な回答を提供する予定である。

TBBPAについて

テトラブロモビスフェノール-A(TBBPA)は、火災安全性基準を満たすために電子機器で一般に使用される臭素系難燃剤(BFR)であり、あらゆるBFRにおいて世界で最大の生産を有する。TBBPAは、その使用目的、用途、使用された製品の消費期限において、ヒトの健康や環境にリスクをもたらすことはない。TBBPAに関するより詳しい情報については、BSEF ウェブサイト：<https://www.bsef.com/uses-innovations/brominated-flame-retardants/>を参照されたい。

あらゆる質問について、BSEFのPatrick Fox(pfox@bsef.org)およびリード登録者ICLのSmadar Admon、(smadar.admon@icl-group.com)にお問い合わせください。

BSEFについて

BSEF-国際臭素協議会-は臭素生産者および臭素技術生産者の世界的代表組織です。BSEFは1997年に設立され、臭素とその応用の社会的利益に関する知識の普及に取り組んでいます。BSEFのメンバーは、アルベマール社(Albemarle Corporation)、ICL Industrial Products社、ランクセス社(Lanxess)および東ソーです。

詳しくは、www.bsef.orgをご覧ください。最新のニュースや情報については、Twitterの@BromineInfoでBSEFをフォローしてください。

